

# 下野市立国分寺小学校

## 1 学校課題

～聴き合ってやさしき風を起こし、学び合っているのちを輝かせる～  
聴き合い、学び合う子どもを育てる

## 2 研究計画

### (1) 研究のねらい

学年共同体制を基盤にした「聴き合う関わりを深める工夫」の実践を通して、指導目標である「聴き合い、学び合う子どもを育てる」の具現化をめざす。

### (2) 研究の経緯と方針

#### ① 経緯

本校では、これまで「聴き合い、学び合う子どもを育てる」を学校課題指導目標とした研究を行ってきた。その中で「教材との対話」「友達との対話」「自己との対話」を大切にしてきた。

今年度は、「聴き合うかかわりを深め、学び合う子どもの育ちを助ける」を努力点とし、更に個々の課題を踏まえ学年・ブロック等の共同体制を重視して、協同的、活動的、反省的な授業の実践に取り組むことで「学び合う子ども」を育てることをめざすとともに、各授業研修や青柳先生・上原先生を交えてのS&U事業研修会を通して研究を進めてきた。

#### ② 方針

本年度は、引き続き学年・ブロックの共同体制を重視して、言語活動の充実を図りながら、学び合う子どもの育成に取り組んでいく。

## 聴き合い、学び合う子どもを育てる

### 学年（ブロック）が共同体となって

- ねらいの明示
- 指導と評価の一体化
- 導入・資料・発問の工夫
- 学習問題（何を学ぶかを明らかにする）
- 一人一人に目を向けた指導の工夫
- 教材の工夫開発
- 操作活動の工夫
- 知識の習得と活用

《日々の実践を通して  
聴き合うかかわりを深める》

- ・相手の話を聞く態度の育成
- ・課題に対して必ず自分の意見を持ち、自分の意思表示をする場の設定
- ・友達の考え方のすばらしさに気づき、共に高め合う学習形態の工夫
- ・児童理解

《同僚性を築き  
自立する教師をめざして》

- ・個人研究のテーマを踏まえた授業研究
- ・言語活動の充実（年計への位置づけ）
- ・授業公開による学び合い
- ・授業研究会の進め方の工夫
- ・学年協同体制を構築、組織としての教育力の強化

### 学び合う子どもの育ちを支える学級経営

- 基本的な生活習慣・規範意識・学習規律の日常的な指導の充実 ← 国小ミニマムの作成
- 一人ひとりに配慮した学級経営の充実
- 学習環境の整備 教室づくり（やさしき風が流れる教室）  
環境づくり（清潔な教室・掲示物等）

### 【低・中・高ブロックでの取り組み】

低学年…進んで表現し、わかりやすく伝えることができる児童の育成

中学年…思考力・表現力・判断力を高めるための言語活動の充実

高学年…言語活動を充実させるための指導の工夫 ～思考力を高める言語活動の充実～

上記のように各ブロックでの指導の方針を決め実施していく。

### 3 研究内容

#### (1) 学校課題個人研究テーマ

クラス	研究テーマ
1-1	豊かな心を育むための児童指導の探求
1-2	自分の思いを表現し、聴き合い、伝え合える学級作り ～道徳を中心として～
1-3	相手と話したり、聴いたりする楽しさを味わいながら、コミュニケーション力の育成を目指す
2-1	学び合えるクラス、よく聞き、じっくり考え、進んで発言する児童の育成
2-2	基礎・基本の定着を図るための算数的活動の充実 ～表現力を高めるための指導のあり方～
2-3	進んで考え、豊かに表現できる児童の育成 ～自分の思いや考えを、わかりやすく自分の言葉で伝えるために～
3-1	「電気で明かりをつけよう」の単元を通しての電気概念の形成
3-2	「どうして? なるほど! 分かった! 楽しい! もっと!」が出てくる授業を目指して
3-3	全員が話し合いに参加できる効果的なグループ学習の導入
4-1	言語活動の充実を図った授業の工夫 ～算数科・理科の教科学習を通して～
4-2	自分の思いや考えを表現させるための指導の工夫 ～道徳・学級活動・総合的な学習の時間を中心として～
4-3	主体的に学び、考える力・表現する力を育てる学習過程の工夫 ～社会科における聴き合い、学び合いの充実を図りながら～
5-1	学び合うこどもの育ちへの支援 ～言語活動を充実させるための指導の工夫～
5-2	音楽の楽しさを感じ、お互いに聴き合い、思考力を高めるための指導の工夫
5-3	ICT機器を活用し、学習意欲を喚起させ、話し合い活動の充実を図る
6-1	数学的な思考力・表現力を伸ばす指導の工夫
6-2	自ら進んで学ぶ、分かる授業の展開 ～思考力を高める言語活動の充実～
6-3	一人一人が意欲的に取り組み、よく聴き、学び合う学級作り
しいの木1	自立のための知識や技能を身につけた児童の育成をめざして ～言葉を楽しく学ぶための授業の工夫～
しいの木2	一人一人のコミュニケーションを高める研究について
T. T. 学習指導	音楽のよさや楽しさを感じながら学習できる児童の育成をめざして 思考力・表現力・判断力を高めるための言語活動の充実 ～授業(音楽・家庭科)、校内研修を通して～
教務主任	理科学習における言語活動の充実を目指して ～理科の事物・現象に関して考え、表現する活動を通して～

#### (2) 年間授業研修会

要請訪問, S&U コラボ事業	
5/29	要請訪問 講話「言語活動の充実について」 ※下都賀教育事務所 稲葉 亜希恵先生
9/18	4年3組 社会「くらしの移り変わり」 ※宇都宮大学教授 青柳 宏先生
11/6	5年2組 音楽「音楽の旅」 ※宇都宮大学准教授 上原 秀一先生
11/27	1年2組 道徳「自分の力で」 ※宇都宮大学教授 青柳 宏先生
校内授業研究	
6/12	2年3組 国語 4年2組 道徳 5年1組 道徳
6/26	2年1組 国語 4年3組 音楽 6年3組 算数
7/10	1年3組 英語活動 4年1組 算数 6年1組 算数
10/16	しいのき1組 国語 3年2組 国語 3年3組 図工 6年2組 算数
12/11	1年1組 学級活動 2年2組 算数 3年3組 理科 5年3組 学級活動
1/22	しいのき2組 学級活動 2年2組 音楽 6年2組 理科

#### 研究授業の様子

5年 音楽  
「音楽の旅」  
(S&U コラボ事業)



4年 道徳  
「みんなの場所を大切に」



### 4 本年度の成果と課題 (○は成果, ●は課題)

- 全員が同じ研究テーマで取り組み、少しずつではあるが言語活動を充実させることができた。
- ペア学習やグループ学習を取り入れ、「聴き合い学び合う」授業づくりが、各ブロックの研究テーマに沿って実施できた。
- 教材の工夫により児童の内言を引き出すことができ、思考力・判断力・表現力が育ってきた。
- 様々な教科・領域の授業を公開し合い、指導法の研究を深めることができた。
- よりテーマに迫るための教材開発・学習形態の工夫・話し合い活動の指導等に取り組んでいきたい。
- 個人やグループの考えをもとに、学級全体で学び合い、広げ、深めるための手立てについての研究に取り組んでいきたい。